

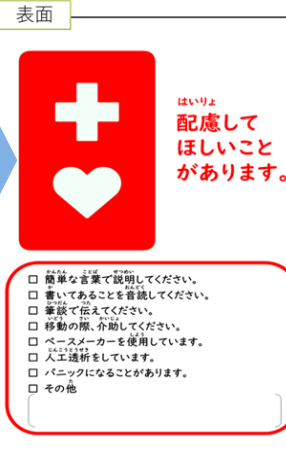
①わかりやすいサイン

- 知的障がいのある人などの避難生活上の戸惑いや混乱を少なくするために、配備するものです。
- デザインは、新型コロナウイルス感染症対策も意識しつつ、知的障がいのある人などの意見を参考にしました。
- 避難所運営に必要な部屋・スペースを予め掲示物しておくことで、避難所立ち上げ時に、必要なスペース・部屋を円滑に確保できるようになります。
- 避難所運営には、なるべくわかりやすい言葉を使用することや、聴覚障がい者、外国人などにも伝わるようにする工夫が必要であるという避難所運営者の意識の向上の狙いもあります。
- A3サイズ又はA4サイズのラミネート加工をした掲示物（24種類）です。



②ヘルプマークカード

- 障がいのある人など、避難生活をおくる上で、配慮が必要な人が、このカードを生活スペースの出入口に貼ったり、持ち歩いたりすることで、必要な配慮が受けられるようにするためのものです。
- 平常時に区役所等で配布している「ヘルプマーク」のデザインを使用し、避難所でも配布しやすいカード（A5サイズ・厚紙）にしました。



③介助者用バンダナ

- トイレ介助や食事介助など、介助を行っている人が、自分が介助者であることを周囲にわかりやすく伝えることで、周囲からの理解や配慮を得やすくするためのものです。



④配備内容

- 対象施設
指定難所 258施設
- 配備物品
 - ・わかりやすいサイン 24枚
(A3、A4ラミネート加工 24種)
 - ・ヘルプマークカード 20枚
(A5、厚紙)
 - ・介助者用バンダナ 2枚
(60cm×60cm)
 - ・使用上の留意事項 1冊
(A4 サイズ)